

# ごみゼロカフェ News



皆さんのご意見をたくさんいただきました！  
ありがとうございました！

かわるん

ごみの減量化・資源化に係る市民参加を推進するため、様々な年代の市民や事業者など多様な主体がごみ減量について意見交換する「ごみゼロカフェ」を開催しました。

「ごみゼロカフェ」では、参加者がカフェのように気軽な雰囲気の中でコーヒーや紅茶を飲みお菓子をつまみながら意見を交換しました。若い方も参加してくださり、小グループの「ワールドカフェ方式」で楽しく対話しながら、「**“エコ暮らし”からごみ減量を考える**」をテーマに、ごみ減量のアイデアを出し合いました。

## 開催状況

- 募集人数 各回 30 名程度 (先着順)
- 参加資格 市内在住・在勤・在学の方
- テーマ

### 「“エコ暮らし”からごみ減量を考える」

- 開催日時・場所 市内3カ所



### 第1回(南部地域)

10月22日(土)  
14時00分～16時00分  
産業振興会館  
第3研修室A・B  
28名参加

### 第2回(北部地域)

11月19日(土)  
14時00分～16時00分  
多摩区役所6階  
601会議室  
28名参加

### 第3回(中部地域)

11月26日(土)  
14時00分～16時00分  
川崎市生活文化会館  
(てくのかわさき)  
第1・2研修室  
24名参加



### <川崎市一般廃棄物処理基本計画に位置づけられた「ごみゼロカフェ」>

平成28年度から平成37年度までの10年を計画期間とする「川崎市一般廃棄物処理基本計画」の第1期行動計画(平成28年度～29年度)では、1人1日あたりの普通ごみ排出量15g削減、家庭系の資源化率30%、ごみ焼却量1万ト(家庭系4千トン)削減を目標に、重点的に取り組む20の施策を設定しています。その中に「ごみゼロカフェ」が位置づけられました。



御参加いただいた方には、本市の普及啓発グッズ特製「手拭い」のプレゼントがありました。





### ごみゼロカフェでいただいた意見

#### <ワールドカフェ方式で意見交換>

ごみゼロカフェでは、グループに分かれて意見交換を行い、最後にグループごとに発表の場を設け、話し合った内容を参加者全員が共有します。各グループでは様々な意見が出ますが、最後に特に重要と考えられる上位3つを抽出してもらい、その要因、対策や解決の実現に向けたアイデア等を発表してもらいました。

第1ラウンド ごみ減量のためにやっていること！

第2ラウンド こうしたらもっと良くなること！

第3ラウンド 実現に向けたアイデア！



### 主に 出された 意見

#### 第1回 南部地区

- ・多くの班で話し合われたのは“分別の徹底”、“ルールを守る”
- ・アイデアとして“余分なものは買わない”、“生ごみの減量”
- “エコバックの活用”、“わかりやすいパンフレットによるPR”

#### 第2回 北部地区

- ・5つの班に共通していたのは“分別の徹底”、“ルールを守る”
- ・ポイントは、“守れない人、守らない人に向けてどう分別を徹底していくか”
- ・そのためには、“意識の向上を含めた教育”を工夫していかなければいけない

#### 第3回 中部地区

- ・川崎市全体にどうやって“意識化”を図っていくのか
- ・いかに“分別をわかりやすく”市民に伝えていくか
- ・分別の前に、“無駄をなくそう”、“長く使おう”という視点も大事

#### 現行の施策に対する要望

- ・「生ごみ、公園の剪定枝、落ち葉、草木の堆肥化が必要」、「ごみ収集ルートや時間の変更」、「地域の環境や実情に応じた柔軟な集積所の設置(折り畳み式ステーション)」など

### 参加者の 感想 (アンケートより)

#### アンケートに見る「ごみゼロカフェ」は好評！

- ・参加者の構成が中高年中心であったが、参加者の9割以上が「よかった」としており、来年度以降の開催への参加意向も9割を超えていてとても好評
- ・「良かった」とする人の多くが、“いろいろな意見を聞くことが出来て勉強になった”ことを挙げている

#### 多様な層の市民から声を聴きたい！

- ・今回、学生の自主的な参加が1名あったが、次年度以降はテーマに応じて、ごみに関心がない層にも参加してもらえるような工夫が必要

#### その他の意見・感想

- ・グループ制で話しやすかった
- ・楽しかった
- ・ごみゼロにする為の意識を高めていきたい
- ・ごみ処理について、考えるよい機会になった
- ・普通ごみのみならず、紙ごみ、プラごみ、ペット等の減量について、どんな話し合いが出るのか興味がある
- ・ダンボールコンポストなど知らないことをいろいろ知る事ができた
- ・小、中、高、老人会などで、ごみ分別の話(勉強会)やゲームを実施
- ・持続可能というのは、すべてのごみを減らすことだと思う
- ・よりエコな方法を知りたい(ごみ減量が省エネルギーか)

### ごみゼロカフェ運営委員会によるまとめ

### 結果を踏まえた 市への 提案

ごみに関して意識がある人はごみの減量を頑張っている  
みなさんの頑張りを全市に広げるために…

### 成果

#### 実践されている「エコ暮らし」！

マイ箸、不要な物は買わない、賞わない、食べ残しはしない等、「エコ暮らし」が日常的に実践されている

#### 地域は頑張っている！

廃棄物減量指導員を中心に、集積所の見守り、町会で分別の勉強会、町会での独自回収等々、地域はごみ減量に向けて頑張っている

#### さらなる分別促進！

ルールを守ってもらうためには、ごみ袋の有料化、戸別収集、収集方法・回数の拡大等検討が必要

#### 広報・周知の徹底が必要！

詳細で親切的な冊子等による周知、多言語による周知

#### 意識啓発、環境教育が重要！

市民一人ひとりがルールを守っていくことが大事  
そのためには、次世代の担い手である子どもや若い人たちに中心になってもらいたい

#### 求められている、よりきめ細かな対応！

生ごみ、公園の剪定枝、落ち葉の堆肥化、ごみ収集ルートや時間の変更等、地域の環境や実情に応じた対応が必要

#### “怖い”・“危険”を伴うごみの問題！

分別や収集日の時間を守らない人への対応は地域では難しく“怖い”  
刃物類が集積所に置かれるのは“危険”  
使い切っていない殺虫剤、ガスボンベ等の始末も“危険”

### 課題

### ごみゼロカフェを通して 市民と市がともに考えていきます

### 今後の ごみゼロカフェ

(アンケートより)

#### <ごみゼロカフェで聞きたいこと・考えてほしいこと>

- ① ごみ分別の普及活動をどのように行うか
- ② ごみとなる製品に対して企業はどのように考えているか
- ③ 困っている人やわからない人が疑問を解決できるテーマ
- ④ イベントの“ごみステーション”で正しいごみ分別の普及
- ⑤ カフェでの意見交換だけでなく、施設見学や体験等
- ⑥ 若者やごみに関心がない方にも参加してもらえる工夫
- ⑦ 頑張る地域の取組事例の紹介・良好な競争関係

#### ごみゼロカフェでいただいた意見を活かしていくには…

#### <今後のごみゼロカフェのテーマ>

- 定期的に取り上げるテーマ
  - ① ごみ減量・分別
  - ② 地域の美化
 ・テーマの特徴から4つに分類しました  
・開催形式はワールドカフェの他に、講演・イベント・フィールドワークなども
- 継続して取り上げるテーマ
  - ① 意識啓発・教育
- トピック的に取り上げるテーマ
  - ① 社会環境の変化などをタイムリーに
  - ② 市民や事業者の気づき促進
 ～日常のごみ出しからは見えづらい問題を考える
- 将来を見据えて取り組むべきテーマ
  - ① 食品ロス
  - ② 高齢化社会におけるごみ出し
  - ③ 大規模災害時の対応
 ～行政の課題とせず市民も考える





## 【ごみ分別アプリ】 をご存知ですか？

「川崎市ごみ分別アプリ」は資源物とごみに関する情報を配信しています。「ごみの出し方がわからない」、「プラスチック製包装を出し忘れた！」そんな時にご活用ください。

川崎市ごみ分別アプリ

検索

品名を入力すれば  
分別方法がすぐわかる

🔍 歯ブラシ

歯ブラシ

分類: ●

歯ブラシはプラスチックの製品なので、プラスチック製容器包装ではなく、普通ごみとして出してください。



iPhone・iOS 端末用



Android 端末用

スマートフォンやタブレット端末等から無料ダウンロードできます。

- ① 右記または市のホームページ上に掲載している「2次元コード」を読み取る。
- ② 「App Store」または「Google Play」からダウンロード。

## 「川崎市一般廃棄物処理基本計画」って何？

### 川崎市一般廃棄物処理基本計画

～ごみ減量 未来へつなげる エコ暮らしプラン～

#### ＜平成28年度ごみゼロカフェ開催経緯＞

「ごみ減量市民会議」から「ごみゼロカフェ」へ

##### 1) 「ごみ減量市民会議」の取組

平成17年4月、川崎市では川崎市一般廃棄物処理基本計画「かわさきチャレンジ・3R」を推進するにあたり、市民・事業者・行政が加わり、協働で地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちを目指すことを目的に、市民の参加と協働を進める場として、平成18年度から平成27年度までの10年間4期にわたり「川崎市ごみ減量推進市民会議」（以下、「ごみ減量市民会議」）が開催され、「分別等に関する普及広報チラシ」の作成や「普及啓発冊子「チャレンジ生ごみダイエット」」の作成など、市民一人ひとりが地域や家庭で自主的・日常的に ごみ減量に取り組むための提案や仕組みづくりに取り組んできました。

#### 【基本理念】

「地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして」

#### 【基本方針】

- ・ 社会状況の変化等に的確に対応し、限りなくごみをつくらぬ社会を実現します
- ・ 市民・事業者・行政の協働により“エコ暮らし”を実践し、さらに3Rを推進します
- ・ 安心して健康に暮らせる快適な生活環境を守ります

ごみゼロカフェに対する意見を  
お寄せください！お待ちしております！



#### かわるん

生まれも育ちも川崎で、市民の皆様により3Rを身近に感じてもらうために活動する妖精です。

##### 2) 川崎市一般廃棄物処理基本計画への提案

第4期「ごみ減量市民会議」（平成26、27年度）では、改訂を迎えた川崎市一般廃棄物処理基本計画に向けて、川崎市環境審議会廃棄物部会へ

- ・ 市民からの自由な意見を聞く場の特化
- ・ 市内をまわり、市民のごみ減量への関心を高めてもらう場
- ・ 廃棄物減量指導員との連携の強化

を考え、「ごみ減量市民会議」にかわり「ごみゼロカフェ」の開催を提案し、今年度より「ごみゼロカフェ」の開催が実現しました。

- ① 多様な市民目線の意見を吸い上げる
- ② 市内各地で実施する「ごみゼロカフェ」と「ごみゼロカフェ・ニュース」の発行により情報共有の推進
- ③ 日頃、ごみに関心のない方や若い方にも興味を持ってもらえるような環境教育・環境学習の推進

を目指す新たな市民参加の取組として、市民の意見やごみ減量のアイデアをみなさんと共有し実践につなげていきたいと思ひます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

■ お問い合わせ

環境局生活環境部減量推進課 E-mail: 30genryo@city.kawasaki.jp

TEL: 044-200-2605 FAX: 044-200-3923

発行: ごみゼロカフェ運営委員会 平成29年3月